

学習者の発話をうみ出す語彙の授業

日 時：2023年10月20日～11月17日

全4回、金曜日 17:30～20:20

担 当：黒崎亜美 (a.kurosaki@labo-nihongo.com)

【内容】

中上級のクラスでは、JLPT対策の語彙学習が授業の目的となることも少なくない。また、「読解をするためには語彙がない」という思い込みから、読解の授業でも語彙の導入に終始してしまうこともある。しかし、語彙の意味だけを導入しても、学習者は、表層的な理解にとどまり、使用することは困難なままであることも多い。学習者が会話や作文で自由に使える「使用語彙」を増やすことは、能動的な読解にもつながり、中上級の授業では重要なポイントとなる。

そこで、教える前に教師は、どのような準備が必要なのか、また授業の時に、どのような工夫をすることで定着度を上げることができるのか、また、練習や評価などにどのような方法があるのかを考える必要がある。

今回の講座では、学習者の語彙習得の助けとなるための授業を考える。授業前の準備はどのようなことが必要か、授業の進め方、板書、練習の方法、さらにテスト作成を考える。中上級の語彙授業の一連の作業をたどることで、学習者の発話をどれだけ導き出せるのか、また、教師が「教える」ことだけにとらわれず、学習者にどのような支援ができるのかを、受講者とともに共有していく。

【スケジュール】

回	月/日	内容	
1	10/20	●「語彙の授業」とは	●「語彙の授業」とは何か ●「理解語彙」と「産出語彙」 ●語彙分析をしてみよう
2	10/27	●「教案を作成する」	●語彙の教案に必要なこと ●例文を考える ●語彙の授業の流れ
3	11/10	●「読解」と「語彙」	●読解の授業と「語彙」の関係 ●「語彙がわかる」＝「読解ができる」？ ●授業を考えよう
4	11/17	●「語彙」の応用と評価	●テスト・評価を考える ●語彙授業の応用 ●アクティブラーニングへ